

大阪府立金岡高等学校 学校部活動に係る活動方針

1. 部活動の目的

学校部活動は、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、単に、知識・技術・競技力を向上させるだけでなく、多様な活動・経験を通して、人間的な成長をめざすことを目的とする。

2. 運営について

- (1) 顧問は原則として部活動に付き添い、指導と管理にあたる。また事故の未然防止のため、施設・設備の点検を定期的に実施し、万一の場合、迅速に管理職に報告する。
- (2) 年間の活動計画並びに毎月の活動計画を作成し、計画的な活動を行うとともに、保護者にも提示し、理解と協力を求める。
- (3) 部顧問は複数で担当し、過度の負担が生じないようにする。
- (4) 適切な指導方法、コミュニケーションの充実等により、生徒の意欲や自主的、自発的な活動を促す
- (5) 学校部活動の指導に当たって、体罰は、いかなる理由があっても、決して許されるものではない。また、威圧的な言動等による指導によって、生徒の自発性を損なうことの無いよう考慮して指導にあたる。
- (6) 学校の定める下校時間以降に部活動をしてはならない。
- (7) やむを得ず下校時間を超えて部活動を行う場合は顧問の付き添いを必要とする。
- (8) 休日の活動時は、顧問の付き添いを必要とする。
- (9) 休養日は週1日以上設定する。
- (10) 週当たり平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日のうち少なくとも1日を休養日とすることを基本とするが、練習試合や大会等で困難な場合にあっては、本校においては一斉定時退庁日(月曜日)による週1日以上での休養日、および学校全体で部活動を行わない日(定期考査期間等)を含め、部ごとに年間で104日以上設定する。
- (11) 週末の休養日は原則として月当たり2日以上となるよう設定する。
- (12) 1日の活動時間は、平日では2時間程度、学校の休業日は4時間程度とし、できるだけ短時間に、安全で合理的かつ効率的な活動を行う。
- (13) やむを得ず下校時間を超えて部活動を行う場合は顧問の付き添いを必要とする。
- (14) 学校の休業日に練習試合や大会等で4時間以上の活動となる場合は、生徒の健康管理に十分配慮して、休憩時間を適切に設定し、無理のないよう活動するとともに、その後に休養日を設けるなど、学校生活に支障のないように配慮する。